

# 埋文やまがた



2010年1月30日  
第44号



作野遺跡（村山市）



山形城三の丸跡（山形市）



南口A遺跡（庄内町）



馳上遺跡（米沢市）

## 発掘調査説明会

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：<http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス：[yac@yamagatamaibun.or.jp](mailto:yac@yamagatamaibun.or.jp)

# 2009年度 文化財普及事業

今年度当センターでは、文化財普及啓蒙事業の一環として、「発掘調査説明会」「出前授業」「外部展示」「職場体験」「センター・遺跡見学」「体験学習」を実施しました。

## 発掘調査説明会

	市町村	遺跡名	開催日	遺跡種別
1	山形市	山形城三の丸跡(春日町)	6月19日	城館跡
2	山形市	山形城三の丸跡(旅籠町)	7月18日	城館跡
3	村山市	作野遺跡	7月26日	集落跡
4	庄内市	南口A遺跡	9月11日	集落跡
5	米沢市	鎌倉上遺跡	10月8日	集落跡
6	米沢市	馳上遺跡・西谷地地区	10月31日	集落跡

## 出前授業

地区	実施校	期日	対象・内容	
庄内	1 酒田市宮野浦小学校	5月14日	6年社会	
	2 三川町押切小学校	5月14日	6年社会	
	3 庄内町余目第一小学校	5月21日	6年社会	
	4 酒田市松陵小学校	5月22日	6年社会	
	5 酒田市十坂小学校	6月15日	6年社会	
	6 鶴岡市長沼小学校	7月6日	6年社会	
最上	7 最上町富沢小学校	4月15日	6年社会	
	8 鮭川村鮭川小学校	4月27日	6年社会	
	9 舟形町堀内小学校	5月13日	5・6年総合	
	10 新庄市萩野小学校	5月19日	6年社会	
	11 舟形町長沢小学校	6月1日	6年社会	
	12 鮭川村大豊小学校	6月18日	6年社会	
	山村	13 寒河江市寒河江小学校	4月16日	6年社会
		14 上山市東小学校	4月17日	6年社会
		15 村山市大倉小学校	4月22日	6年社会
		16 村山市楯岡小学校	4月22日	6年社会
		17 村山市袖崎小学校	4月23日	6年社会
		18 村山市富並小学校	4月23日	5年社会
19 山形市出羽小学校		4月24日	6年社会	
20 河北町谷地南部小学校		4月30日	6年社会	
21 山形市第二小学校		5月1日	6年社会	
22 中山町豊田小学校		5月7日	6年社会	
23 東根市神町小学校		5月8日	6年社会	
24 大石田町大石田小学校		5月12日	6年社会	
25 山辺町山辺小学校		6月4日	6年社会	
26 山形市桜田小学校		6月5日	6年社会	
27 山形市第八小学校		6月9日	6年社会	
28 寒河江市醍醐小学校		6月10日	6年社会	
29 山形市山寺小学校		6月16日	6年社会	
30 寒河江市南部小学校		6月17日	6年社会	
31 尾花沢市常盤小学校		6月24日	6年社会	
32 上山市上山小学校		7月15日	6年社会	
33 西川町睦合小学校		7月16日	6年社会	
34 朝日町大谷小学校		7月17日	6年社会	
35 東根市小田島小学校		7月21日	6年社会	
36 西川町西山小学校		9月10日	6年社会	
37 寒河江市田代小学校		9月17日	全校総合	
38 河北町谷地中部小学校		10月13日	文化祭	
置賜		39 米沢市興讓小学校	4月14日	6年社会
		40 米沢市六郷小学校	6月12日	5・6年総合
	41 米沢市松川小学校	6月12日	6年社会	
	42 米沢市南原小学校	7月7日	6年社会	

## 外部展示

平成22年1月31日現在

うきたむ風土記の丘考古資料館 「蘇る中世・近世の置賜像」 期 間：3月15日～9月24日 入場者：6,016人
山形県立博物館 「縄文ウィーンズ誕生の地を探る－西ノ前遺跡－」 期 間：5月2日～6月7日 入場者：6,307人
鶴岡市立図書館（2階展示コーナー） 「足元には文化財－よみがえる鶴岡の歴史－」 期 間：7月23日～9月27日 入場者：1,107人
山形空港（2階多目的ルーム） 「遺跡が語る天地人」 期 間：9月9日～9月23日 入場者：103人
庄内空港（3階多目的展示スペース） 「発掘された庄内の歴史－奈良・平安時代編－」 期 間：11月6日～11月19日 入場者：109人

## 職場体験

	団体名	期 間
1	山形市立蔵王第一中学校	3日間
2	上山市内中学校	5日間
3	山形県立上山高等養護学校	10日間
4	京都大学人間・環境学研究科	5日間

## センター・遺跡見学

	団体名	期 日
1	上山市立南小学校 6年生	5月18日
2	県私立中・高等学校教頭会	5月29日
3	三川町公民館 町民講座「歴史探訪」	6月9日
4	霞城学園高等学校「生涯学習講座」	6月23日
5	庄内町立余目第一小学校	6月25日
6	県立米沢女子短期大学	7月2日
7	鶴岡市立上郷小学校	7月15日
8	県立鶴岡北高等学校	8月7日
9	上山ライオンズクラブ	8月11日
10	庄内町教育委員会文化財保護審議会委員	8月26日
11	米沢市立窪田小学校	9月9日
12	川西町文化財保護調査委員会	9月11日
13	大阪老人大学考古学科修了生	10月1日
14	東北芸術工科大学歴史遺産学科1年	10月22日
15	地底の森ミュージアム市民文化財研究員	11月4日
16	尾花沢市教委員会	11月30日

## 体験学習

	団体名	期 日
1	山形県立山形聾学校	5月21日
2	上山市学研 社会科部会	6月10日
3	東北芸術工科大学 こども芸術大学	6月17日
4	霞城学園高等学校「生涯学習講座」	7月14日
5	寒河江市教育委員会少年少女郷土史講座	7月31日
6	中山町教育委員会 歴史体験教室	8月5日
7	霞城学園高等学校「生涯学習講座」	8月25日
8	山形市立東小学校学習発表会	10月26日・11月2日
9	山辺町立作谷沢小中学校文化祭	11月1日

整理室から

# こんにちは! ③

整理作業の「拓本」について紹介します。土器などにつけられた模様を直接紙に墨で写し取る作業です。写真だけではわかりにくい模様がよくわかります。



土器の大きさに合わせて、画仙紙(書画用紙)を切り取ります。



脱脂綿に水をふくませ、ころがして土器に紙をはり付けていきます。



紙と土器の間に空気ははいらぬようにていねいにはり付けます。



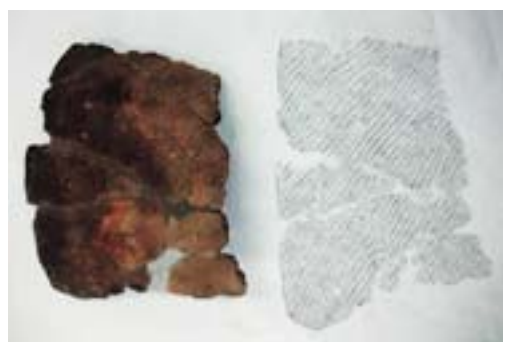
小さいすき間も打ち残しがないように小さいタンポで打っていきます。



同じ濃さの色になるようにポンポンとタンポで墨を打っていきます。



拓本をとる作業の様子



出来上がった拓本

# 2009年度 発掘調査トピックス

## 古代置賜郡の大規模集落

### 米沢市 馳上遺跡 第2次調査

馳上遺跡は、米沢市役所の東方約1kmに位置する、古墳時代と奈良・平安時代の集落跡です。平成12年度の第1次調査では、50棟を超える竪穴住居跡や掘立柱建物跡、160箱に及ぶ遺物が見つかりました。

第2次調査となる今回は、遺跡の西域に当たり、県道1号を挟んだ南北両側を対象としています。見つかった遺構には、竪穴住居跡や掘立柱建物跡、廃棄物用の穴と考えられる大小の土坑、区画や排水に使われた溝跡などがあります。また、遺跡の西側を流れる羽黒川の支流と思われる河川跡が複数見つかかり、住居跡などの遺構はこれら河川間の比較的安定した場所に築かれています。出土遺物は、河川跡や住居跡から、奈良・平安時代の土師器・須恵器・黒色土器などが出土しています。古墳時代の遺物は少ないながら、一部の住居跡や包含層の高坏や甕が出土しています。



県道以北の調査区全景写真です。各所に見える方形の掘り込みは竪穴住居跡と考えられます。奈良・平安時代の土器もあわせて出土しています。



竪穴住居跡の中央部分が、黒くすすけています。暖をとるための炉として使用されたと考えられます。



県道より南側の調査区からは、大きな穴が列をなして見つかりました。建物を構成する柱穴と考えられます。1か所に、複数の穴が重複していることが分かり、柱の建て替えが行われたと考えられます。



土坑の遺物出土状況です。多くは破片で出土していますが、一部、完形の土器も含まれています。



土坑から出土した土器です。左は甑という蒸し器、右は高杯といい下に台が付いている盛り付け用の土器です。



竪穴住居跡です。上部に細長く掘り込まれているところは、カマド跡（煮炊き場）です。石組みがそのまま残っており、当時の使用状況をうかがい知ることができます。

# 古墳時代初めの米沢盆地の集落

## 米沢市 鎌倉上遺跡



古墳時代のST22竪穴住居跡は、4本の柱穴が確認され、住居の外側には環状に溝が巡ります。

鎌倉上遺跡は、古墳時代前期(約1600~1700年前)の集落跡です。遺跡は、米沢南陽道路の米沢北インターチェンジから西へ約350mのところに位置し、周囲は水田地帯になっています。

調査で確認された主な遺構は、竪穴住居跡3棟、掘立柱建物跡2棟、河川跡、畑の畝跡、捨て場などです。竪穴住居跡は、東西に3棟並んで検出されました。最も大きいST22住居跡は一辺が4.6mで、住居の中には炉跡が確認され、床面から土師器がまとめて出土しました。掘立柱建物跡は、住居群の南側に位置します。SB2は2×2間の間取りで、規模は4.4×4.8mの方形です。倉庫などの役割が考えられます。調査区の南端には、河川跡が確認されました。

出土した遺物は、古墳時代の土師器が大半で、甕・壺・高坏・器台などの器種が見られます。祭りに用いられたと考えられる、赤く色付けされた壺も出土しています。石製品では装身具として使われた管玉が2点見つかりました。河川跡からは木製品も出土しました。



竪穴住居跡を掘り下げたところで、床からは土師器が出土しました。中央に見える黒い部分は、炉跡です。



地面に穴を掘って柱を立てたSB22掘立柱建物跡です。平面は四角形で、建物の北側には溝が伴います。倉庫と考えられます。



赤く彩色された土師器の壺



捨て場から出土した管玉

# 庄内平野のド真ん中の集落

## 庄内町 <sup>みなみぐち</sup>南口A遺跡

南口A遺跡は、庄内平野の中央に位置する遺跡で、周辺は一面の水田地帯です。調査区の南側を中心に竪穴建物跡や土坑、溝跡、水路跡などの遺構が見つかり、須恵器、土師器、陶磁器などの遺物が出土しました。遺構の埋土の様子や出土した遺物から、約1,200年前の奈良・平安時代と江戸時代末～近代の集落跡であることが確認されました。

竪穴建物跡は、規模や形状から古代のものと思われ、かまどや焼土が見つからなかったことから、倉庫の可能性が考えられます。また、土坑には底面に板や細木を敷いたものがあり、建物の柱の沈み込み防止のための礎板とも考えられます。遺物には奈良・平安時代の須恵器、土師器と近世・近代の陶器、磁器、木製品、銅銭などがあり、古代から近代まで、この地域で人々が生活していたことが確認されました。さらに、溝跡や水路跡が多く見つかったことから、豊富な水を利用していたこともうかがえます。ただし、明確な住居跡や建物跡が確認されなかったことから、集落の中心は今回の調査区の南東側と推測されます。



調査区の中央に水路跡が、手前に溝が調査区を横断しています。



竪穴建物跡で、4 mの方形です。床面が残っていなかったため詳細は不明ですが、奈良・平安時代の建物と思われます。



建物の柱の沈み込みを防ぐためとも考えられる板が底面に敷いてあり、3ヶ所を杭で押さえています。



溝跡から出土した須恵器の坏



約1,200年前の須恵器の甕、坏、蓋



江戸時代以降の磁器の皿

# 展示ギャラリーのようす

山形県埋蔵文化財センターでは、発掘された土器や石器などを広く県民の皆さんに公開する企画展示を実施しています。今年度も山形県立博物館など県内5か所を会場に土器や石器・木製品などの展示を行いました。



## 「縄文ヴィーナス誕生の地ー西ノ前遺跡ー」

期間：5月2日(土)～6月7日(日)

会場：山形県立博物館 第3展示室

内容：「縄文ヴィーナス」の愛称で親しまれている土偶が発見された西ノ前遺跡を中心に、中川原C遺跡、水木田遺跡、原の内A遺跡など縄文時代中期の集落の出土品を展示。



## 「足元には文化財ーよみがえる鶴岡の歴史ー」

期間：7月23日(木)～9月27日(日)

会場：鶴岡市立図書館 2階展示コーナー

内容：鶴岡市教育委員会との初の共同展示会。鶴岡市内から出土した土器や石器などを時代を追って展示。夏休み期間中のため多くの子ども達が見学に訪れた。



## 「遺跡が語る天地人」

期間：9月9日(水)～9月23日(水)

会場：山形空港 2階多目的ルーム

内容：NHK 大河ドラマ「天地人」に合わせ、直江兼続が生きた戦国～江戸時代初期の城館跡から出土した陶磁器・漆器・金属製品などを展示。主な遺跡は亀ヶ崎城跡(酒田市)、鶴ヶ岡城跡(鶴岡市)、米沢城跡(米沢市)。



## 「発掘された庄内の遺跡ー奈良・平安時代ー」

期間：11月6日(金)～11月19日(木)

会場：庄内空港 3階多目的展示スペース

内容：庄内地方から出土した奈良・平安時代の遺物を紹介。上高田遺跡(遊佐町)の木簡、泉森窯跡(酒田市)の須恵器、万治ヶ沢遺跡(鶴岡市)の赤焼き土器などを展示。

# 秘宝館

わきざ  
脇差し

よねざわじょうあと  
米沢城跡（酒田市）



刀身



切羽・鍔・折金

柄金具



1次調査  (平成10年調査)



2次調査  (平成12年調査)



3次調査  (平成15年調査)

米沢城跡の範囲は、東西約600m、南北560mのひろがりとなっています。米沢城の二ノ丸にあった山形県立米沢工業高校が移転し、その跡地に上杉博物館の建設が計画され、遺跡の記録保存のため発掘調査が行なわれました。

米沢城は、長井氏、その後伊達政宗で有名な伊達氏の領地でしたが、1598年からは上杉氏の領地となりました。昨年大河ドラマでおなじみの上杉景勝や直江兼続もこの地にくらしていたのです。

遺跡からは漆器・下駄などの木製品や、瀬戸美濃・肥前・かわらけなどの焼き物、古銭やキセルなどの金属製品が見つっています。

特に珍しいものでは、堀跡から出土した脇差しがあげられます。これはほぼ完全な形で見つかりました。鞘には黒漆が一部残り、刀には銘はなく、鍔の表面に木目状の線が刻まれていました。武士の魂といわれた刀がなげ堀に捨ててあったのかちょっと謎めいたものを感じますね。

## 「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただけます。

電話 023(672)5301(代表)

## 編集後記

明けましておめでとうございます。今年度も出前授業では子どもたちと楽しく歴史について学ぶことができました。ありがとうございました。また来年度もよろしくお願い致します。